

サステナビリティ推進



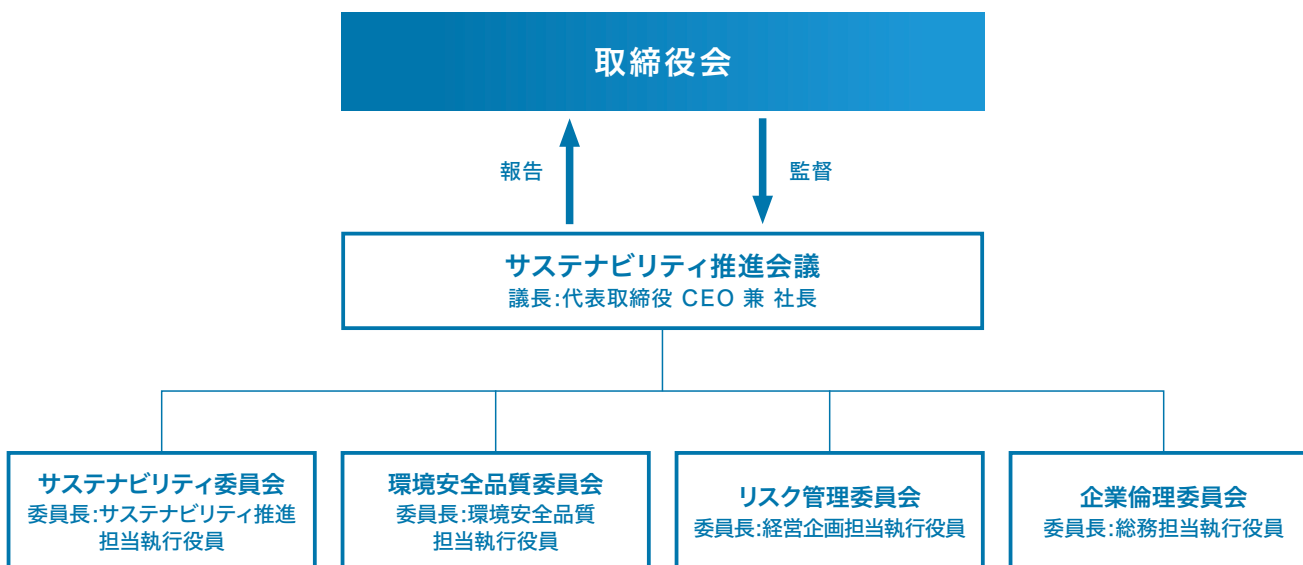
詳細は、サステナビリティサイトをご参照ください。

JSRグループは、サステナビリティを「企業活動を通じて価値創造することで社会に貢献する」と定義し、多様性を尊重しながらグループ全体でサステナビリティを推進することを、企業価値向上に向けた重要な戦略の一つと位置付けています。

● サステナビリティ推進体制

JSRグループでは2020年に「サステナビリティ推進会議」を設置し、ESGやSDGsに関わる内外の情勢を踏まえ、各種方針をはじめサステナビリティに関する事項を審議・調整しています。

図にある4つの委員会の活動を統括・指導し、年4回の定例会議と臨時会議を開催しています。会議の議長は社長が務め、4つの委員会の事務局と、各執行役員が参加しています。これにより、当社グループのすべての事業と機能にわたる議論を可能とし、企業価値の向上に努めています。



2024年度のサステナビリティ推進会議での 主要な議題は以下の通りです。

- ▶ SBT認証取得を目的としたJSRグループのGHG削減目標について
- ▶ 2025年度以降のJSRグループのマテリアリティについて
- ▶ JSRグループのESG評価機関対応方針について

● 2024年度における サステナビリティの進捗

JSRグループにおける重要課題の一つである気候変動への対応に関して、2030年度までに温室効果ガス排出量を2020年度比で30%削減することを目標に掲げ、再生可能エネルギーの導入などによって、2024年度は18%の削減を達成しました。

さらに、企業として社会的責任を果たすため、パリ協定の目標に沿った温室効果ガス削減目標へ目標設定を見直し、自社 (Scope1およびScope2) において2030年度までに2023年度比で42%削減、自社以外において、2029年度までに、購入した製品・サービス、資本財、上流の輸送・配送を対象とする排出量ベースで、サプライヤーの85%が科学的根拠に基づく目標を設定する、という目標を設定しました。当該目標は、science-based targets (SBT) であり、SBTi (Science Based Targets Initiative) より認証を取得しています。

今後は、目標達成に向けて温室効果ガス排出量削減に関わる取り組みをより一層加速していきます。